

No.193
2020.9.18

郷土

荘原コミュニティセンター報

令和2年7月31日現在
世帯数……2,570戸
男 性……3,555人
女 性……3,807人
合 計……7,362人

発行／荘原コミュニティセンター

出雲市安川町萩原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる荘原 笑顔の未来
いかそう 人を 歴史を 資源を

7/29~7/31
(水) (金)

8/17~8/19
(月) (水)

サマースクール

今年は、前期・後期に分けて計6日間開催しました。コロナ禍での対応となったため、募集定員を30名としましたが予想を上回る応募となり、一部のお子さんたちの希望をお断りしなければならませんでした。会場となる集会室の人数上限いっぱい40名の子どもたちが、6名の地元教員OBと一緒に学習しました。検温や消毒、机間の距離を取るなどの感染症対策と、熱中症対策に配慮しながら実施しました。

子どもたちは、自分の目標を決めて取り組み、次々と課題をこなしていました。参観された教育委員会の方からは、「驚きました。荘原の子どもの静かさと、学習への集中力はすばらしいですね。」と、お褒めの言葉をかけていただきました。

放課後こども教室



小学生の部



中学生の部

Contact

感想

●細かなところまで教えてもらったので、分かりやすく理解しやすかった。静かに集中できる空間があるため勉強も進んだ。1週間くらい長くても良いなと思ったし、がんばるなと思った。(中学生)

●家では課題がなかなかできないけれど、サマースクールではたくさんやる事が出来たので良かった。タイマーで時間がはっきりわかり時間配分ができることや、分からないところや選んでいるところを教えてもらえて良かった。(中学生)

●先生たちが通った時は、まちがっているところを見つけては教えてくれていたのですね。助かりました。(4年生)

●去年より人数が多くてびっくりしました。人数が多いのでうるさいかなと思ったけど、静かだったので良かった。静かに勉強ができたので良かった。次回また来たいです。(5年生)

●家でやると、テレビや音がうるさくて集中できません。ここは4年生以上しかいないので、静かに勉強がはかどります。目標を立ててやることで、決めたところまで行くのがうれしかったです。問題は終わったけれど、自主学習などをもっとやりたいので、1日間ぐらいにしていたらいいと思います。(5年生)

●みんなは分からないでも、そのまま答えを教えてもらって終わっていたけれど、サマースクールでは、そうなる理由などを教えてもらったので良かったです。(6年生)

8/29
(土)

こどもお花クラブ

今年度は、小学1年生から6年生までの17名と講師の先生2名で8月からスタートしました。(毎月1回土曜日に開催)

「花の正面をどこにしようかよく見てね。」

「お花としっかりお話してね。」

先生の助言をしっかりと聞きながら、自分の選んだ花器に、自分が選んだお花を活着ていきます。今年初めて挑戦する子どもたちは、一つ一つの作業をじっくり慎重に取り組んでいました。継続して活動している子どもは、慣れた手つきで作業を進めたり、友達を手伝ったりしていました。

出来上がった作品は、前に並べて発表会を行い、みんなで鑑賞し合います。また、一人一人に「お花ノート」が配布され、活動の様子を記録していきます。

文化祭の作品展示までに、教室で教わるのは2回。良い作品をみなさんに見てもらえるようにがんばって取り組んでいます。来年3月の教室を迎えるころには、みんなの技量も上がり、素敵な生け花が見られることでしょう。



8/27
(木)

しょう ばら Showバラの会



8月27日(木)バラ愛好家が約30名参加して、荘原コミュニティセンター駐車場の60本余りのバラの夏剪定と「Showバラの会」の初総会を行いました。

先ず初めに、講師の福島博氏からバラの夏剪定の目的と剪定の仕方等について講習会がありました。その後、各々が持参した剪定バサミを持ってバラの剪定を行いました。参加者の中には実際に剪定する枝・剪定する箇所が分からず、講師から指導や手直しをしてもらい大変勉強になったとの感想を述べた人もいました。

当日は大変な猛暑の中の作業でしたが、水分補給等の熱中症対策を十分行い、皆さん楽しく剪定・追肥・草取り作業をされていました。10月10日(土)11日(日)開催の荘原地区文化祭には、芳香を漂わせる色とりどりの花がたくさん咲き、きっと来場者の目を楽しませてくれることと思います。

剪定作業終了後、「おいでませ館」で「Showバラの会」の初総会を開催しました。この会は荘原コミュニティセンター内のバラの管理育成と会員のバラ育成技術の向上に資することを目的としています。総会では、会則・役員・活動計画等を審議決定しました。

「Showバラの会」で行う剪定、追肥、花柄摘み等の講習会は、地域の皆さまへ防災無線等でお知らせしています。講習会への積極的な参加及び「Showバラの会」入会をお待ちしています。(会長:渡部 誠治)



荘原コミュニティセンター助成団体 エコ・フレンドリー倶楽部を立ち上げます!

ごみゼロを目指したリサイクル、リユースの推進の町 上勝町(徳島県)から学ぶ!!

昨年研修に行った徳島県上勝町の取組を改めて見直してみた。住民一人ひとりの手による日々の地道な取組は行政の指導の下、少しずつごみの減量化(生ごみの堆肥化)から始めた。続いてごみの分別を1997年から19種類、1998年25分別、そして今や45分別されている。限りある資源をゴミにしない一番いい方法は再利用すること、再利用できないものは、作り変える。作り変えられないものは再資源化する。まず「くるくるショップ」→衣類や雑貨、家電製品などまだ使用できるものとし、無料で持ちかえることができる。そして「くるくる工房」→リメイク商品の作製と販売をする。これらの活動を上勝小学校の子どもたちが、総合学習の時間にごみ問題を調べ、学習の一環としてゼロ・ウェイトアカデミーに協力している。

子どもたちから高齢者まで自分のこととしてごみ減量化に自然に取り組んでいる姿に感動すると同時に、私たちもできることから始めていくことがすごく大事なことと思った。今年の6月からレジ袋の有料化、マイバックを持参しようとの取組が始まった。これでプラスチックごみが少なくなるとは言えないと思うが、一人一人がごみのポイ捨てはしない、海に流れプラスチックごみで海を汚さないことが重要なのだということが理解できる。荘原地域も歩いてみると結構いたるところにペットボトル、レジ袋、空き缶、たばこの吸い殻、マスク等が捨てられている。まずはごみの落ちていないきれいな街づくりから始めよう!! そして家の中の使わなくなったもののリサイクル、ごみの資源化ができるよう少しずつ始めよう!!

環境に優しい生活環境を整えるためにはどうすれば良いかを学び、実践し、皆さんに発信していけたらと思います。今回は、リサイクル・リユース推進の町として有名な上勝町に昨年研修に行き、学んだことをお知らせします。

上勝町ゼロ・ウェイスト宣言

未来の子どもたちにきれいな空気やおいしい水、豊かな大地を継承するため、2020年までに上勝町のごみをゼロにすることを決意し、上勝町ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)を宣言します

- 1 地球を汚さない人づくりに努めます!
- 2 ごみの再利用・再資源化を進め、2020年までに焼却・埋め立て処分をなくす最善の努力をします!
- 3 地球環境をよくするため世界中に多くの仲間をつくります!



平成30年9月19日
徳島県勝浦郡上勝町

児童・生徒が活躍できる地域を目指して! 「出雲市地域学校協働活動推進委員」になって 岡 初枝

出雲市教育委員会から令和2年5月27日に「出雲市地域学校協働活動推進委員」の委嘱を受け、斐川東中学校区の推進員として活動しています。「地域全体で子どもの成長を支える仕組みづくり」を目的とし地域の様々な団体・行事に、児童・生徒がスタッフ・サポーターとして参画できる仕組みを模索します。子どもたちにとって、地域は住みやすく良いところと思え、将来外に出ても懐かしく、また帰って地域の担い手になってくれたらいいなと思っています。荘原コミセン、出東コミセンともいろいろな

事業を展開し、地域と学校、家庭の橋渡し役を担っています。両コミセン、他各種団体と小学校、中学校と連携しながらの児童・生徒の活躍の場の提供ができるようにお手伝いしたいと思います。

「地域は君たちの応援団!!」のエールを送っている荘原・出東地域です。子どもたちが少しでも地域の温かい想いを感じてくれたらうれしいです。

地域は君たちの
応援団!!



教室・サークルの紹介

エアロビクス教室

エアロビクスは、毎月3回水曜日の夜8時から集会所で活動しています。

主にDVDを見たり、CDに合わせて体を動かしていますが、エアロビクスから転じて、広げて第3水曜日は講師の方をお招きし、太極拳(タイチー)で汗を流しています。もちろんこれだけの参加もOKです。

体を動かすのはもちろんですが、楽しいおしゃべりに花を咲かせ、楽しいひとときを過ごしています。難しいことは何もありませんので(常に自分のペースで)、気軽にきてみてください。



パソコンサポート

月2回、水曜日の13時30分から16時30分、会議室で行っています。

ワード、エクセルを中心に文書や表を各自で作成してわからないことを講師の先生に質問しながら操作の上達を目標に続けています。4、5人の少人数ですが、なごやかな雰囲気の中で楽しく行っています。個人のノートパソコン持参ですが、興味のある方はのぞいてみてください。



荏原気功太極拳教室

荏原気功太極拳教室の会員は15名、今年で10周年を迎えます。西村先生と土江先生のご指導のもと、第1・第2・第3水曜日の14時から15時半まで、荏原コミュニティセンターの集会所で練習を行い、第4水曜日は出張と合同練習をしています。

ゆったりとした曲に合わせて行う動作で、心と体を緩め、健康増進に効果があります。気功太極拳は老若男女どなたにも出来、全ての人に適しています。まずは見学、体験をしてみませんか? お待ちしております。



大正琴(楓)

私たち、大正琴会は、毎月第1と第3水曜日の午後楽しく練習しています。大正琴の美しい音色と一緒に奏でてみませんか? 譜面が読めなくても数字を見て弾くことができるのが大正琴のいいところ。お待ちしております。



きょうばくの会

「きょうばく」とは「蕎麦(そば)」を音読みしたものです。そばを愛し、そば打ちを極めようとする者が自らの技術を向上させる目的で集まる会です。

毎月、第3水曜日の9時30分から12時30分まで活動しています。なお打ったそばは(1回につき5人前)は自分の好きな量をゆでて食べ、残りは自宅に持ち帰り家族に振る舞うことにしています。

指導者には糸賀元氏を招いており、初心者にも丁寧な指導をいただいています。

年会費:1,000円

材料費:700円/回

(そば粉代)



スポーツ吹き矢

最近テレビ等で紹介され静かなブームを呼んでいる「吹き矢」をスポーツとしてル



ール化したのが「スポーツ吹き矢」です。

腹式呼吸を基本とした呼吸法と、的に当てるための集中力を養うことで健康の増進を図ることを目的としています。自分に合った的の距離を定めるし、いすに座っての競技も可能で、誰にでも楽しめるスポーツです。

会費:今年度は無し

個人用マウスピース:200円

日時:毎月 第1・3水曜日13:30~

将棋教室

毎月第1・2・4木曜日の13時~17時(休日の場合変更あり)、月3回、将棋の対局を行っています。

昔は夏になると緑台で将棋を楽しんだのですが、近年そうした光景を見ることは少なくなっていました。しかし、藤井聡太八段の出現で将棋ファンがこのところ増えています。また、将棋は認知症予防に最適と



言われています。親戚に関係なく是非お出かけください。

陶芸クラブ

昭和54年に陶芸活動を通して陶芸技術の向上と相互の親睦を図り健康と福祉の増進を目的として結成され、今年で41年を迎えます。現在はクラブ員16名(女性12名、男性4名)で「仲良く、楽しく、自由に」をクラブのコンセプトとし作陶に励んでいます。初心者には先輩のアドバイスを受けながら、「土練り」から「手びねり」で小鉢などの身近な食器に挑戦し、自分で作りたかった「花器」を製作したり、作ってみたいものがある人も、何を作りたいかわからない人も、色々の想いを巡らせながら毎月第2木・金曜日の9時から4時に土いじりを楽しんでいます。

作品作りは1日目に粘土をいじり作品を作成し、2日目は高台割りなどの仕上げをし、乾燥します。翌月の木曜日午前中には当番が完成した作品に紐を掛け入れ・本棚しますので、1か月で作品が完成するのが魅力で



す。皆さんも一緒に仲良く、楽しく、自由に陶芸を楽しみませんか!

大正琴A



大正琴A教室は、月に2回、第1・第3火曜日にコミセンで練習を行い、ボランティアで介護施設などを訪問し演奏を振舞っています。

大正琴と聞くと、なじみの薄い楽器と思われるかもしれませんが、「音を楽しむ」ことをモットーに和気あいあいと演奏しておりますので、どなたでも気軽に見学や体験だけでも参加してみてください。歓迎します。

大正琴A教室は、月に2回、第1・第3火曜日にコミセンで練習を行い、ボランティアで介護施設などを訪問し演奏を振舞っています。

7/9
(木)7/28
(火)7/31
(金)

新型コロナウイルスに克つ!

～今、私たちができること…布製マスク作り～

新型コロナウイルスの感染は未だに収まる気配はなく、誰もが怒りの矛先をぶつける先が無い生活を余儀なくされています。それは「やまももの会」の会員も同じで、思い通りの活動ができないもどかしさを感じながらも少しずつ活動を行ってきました。

そんな中、今自分たちができることはなんだろうかと話し合い、布製のマスク作りに取り組むことになりました。

マスク作りとひとくちに言っても布の裁断、ミシン縫い、生地を表に返す、アイロンがけ、ゴムを通す…と様々な工程があり、距離を保ちながらの作業を行ったコミセンの部屋は、さながらマスク工場のような様子でした。

完成したマスクは自治協会とコミセンに寄付をし、地域の皆様のために役立てていただくことになりました。



～お願い～

「ベルマーク運動」について

このたび、荏原コミュニティセンターとの共催事業として「ベルマーク運動」を始めます。日用品に付いている「ベルマーク」を集め、小中学校の教育援助や大災害を受けた学校や子どもたちの支援をしていきたいと思っています。

「無理なく、無駄なく、根気よく」をモットーに誰でも気軽にできるボランティアですので、みなさまのご協力をお願いします。

なお、「ベルマーク」の箱は、コミセンの窓口を用意していますので随時入れてください。

(例) スプーン印の砂糖、キューピーマヨネーズ、クレープ、カートリッジ、クノールスープなど



新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮についてお願い

こんなとき
だからこそ!!

感染された方等への差別や偏見をなくしましょう!!

新型コロナウイルス感染症は誰もがかかる可能性があります。

1人1人が相手を思いやる気持ちを忘れずに、冷静な対応をお願いします。

私たちが闘う相手は、**新型コロナウイルス**であり、感染された方ではありません。



- ・感染された方等に対する誹謗中傷や患者の発生に関する噂を拡げることは、厳に慎んでください。
- ・検査で陰性が確認され、経過観察を終えた方は、他の人に新型コロナウイルスをうつすことはありません。
- ・差別や偏見を行うと、「新型コロナかな」と思った時に声を上げづらくなり、結果として、感染症拡大防止の妨げになります。

退院された方がこれから地域で生活していくためには、**地域の方の協力が必要です。**

ご不安なこと等がありましたら、

しまね新型コロナウイルス感染症「健康相談コールセンター」 ☎0853-24-7017

島根県出雲保健所・出雲市

にご相談ください。

編集後記

今年の夏は本当に特別な夏だったと思います。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、たくさんのイベントが中止となり静かな夏だったこと。そして、何といてもこの暑さ。新聞でも戦後最も暑い夏だったと伝えています。「熱中症に気を付けて」と毎日のようにメディアで報道されています。そんな中で、当の私自身がまさかの熱中症になってしまいました。昔の仕事を、夏の暑さには慣れていたつもりだったのですが、心のどこかで私は大丈夫だと過信していたのでしょう。作業が終わったとたん、あれよあれよという間に体調が悪化してしまいました。

予報ではまだまだ厳しい暑さが続くようです。今年は新型コロナウイルス感染予防対策としてマスクの着用という暑さの二重苦です。みなさん、くれぐれも体調にお気を付け下さいね。

文責(廣)

香典返し 金一封

ご寄付御礼

昌子 敬造 様(瀬南自治会)
池淵 純子 様(喜多自治会)
森脇 孝充 様(横町自治会)
池淵 章敬 様(東本町1自治会)
岡 岩雄 様(北瀬自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、荏原地区社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

10月10日(土)・11日(日)は文化祭開催のため、**リサイクルステーションは使用できません。**

ご協力の程、よろしくお願い致します。